

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



豊里

大きく成長して帰っておいで

「サケの放流体験」(北上川漁業協同組合豊里支部主催)は2月15日、豊里水辺の公園で開かれ、豊里小中の5年61人がサケの稚魚を旧北上川に放流しました。
放流体験は、生き物や自然から生命の大切さを学んでもらうことが目的。児童は、水槽の中を元気に泳ぎ回る稚魚を観察。その後バケツに入れた稚魚約20万匹を川に放流しました。児童たちは川を下ったサケが無事に成長し、数年後に大きくなって帰ってくることを願いました。

原子力災害に備え町超え避難

女川原子力発電所の事故を想定した「原子力防災訓練」は2月10から12日まで、県内各所で実施され、市内では発電所から30km圏内の豊里と津山町域からの住民などが参加しました。
訓練では、避難者に指定の避難所を案内する避難所受付ステーションを米山総合支所前に設置。豊里町からの避難者が受付ステーションに来ると、担当者が氏名などから避難先を確認し、指定された避難所へ誘導しました。



米山



迫

まぼろしの郷土芸能鹿踊披露

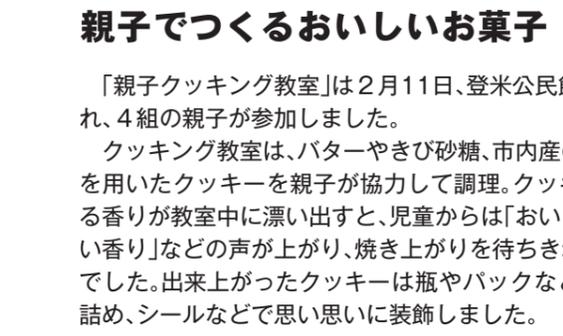
佐沼地区地域づくり事業「さぬまの文化・歴史講演会」が2月6日、迫公民館で開かれました。
講演会は、「まぼろしの郷土芸能『佐沼鹿踊』の再興」と題し佐沼鹿踊伝承会の大場勤市会長が講演。大場会長は「郷土芸能を絶やさないため、住んでいる地域の郷土芸能の歴史を知ってほしい。今後も後継者の育成に力を入れたい」と話しました。講演後は伝承会による佐沼鹿踊の実演があり、参加者は迫力のある音と踊りに見入っていました。



石越

ハンカチ使って交通安全啓発

「石越にじいろこども園への交通安全啓発物品寄贈」(石越地区交通安全母の会主催、金澤いく子会長)は2月24日、同園で実施され、交通安全母の会から園児へハンカチが寄贈されました。
寄贈されたハンカチは、交通ルールを守ることを呼び掛けながら横断歩道を渡るカエルのキャラクターをプリント。園児たちは、ハンカチを使う度に交通安全について意識することができます。



登米

親子でつくるおいしいお菓子

「親子クッキング教室」は2月11日、登米公民館で開かれ、4組の親子が参加しました。
クッキング教室は、バターやきび砂糖、市内産の米粉などを用いたクッキーを親子が協力して調理。クッキーの焼ける香りが教室中に漂い出すと、児童からは「おいしそうない香り」などの声上がり、焼き上がりを待ちきれない様子でした。出来上がったクッキーは瓶やパックなどの容器に詰め、シールなどで思い思いに装飾しました。

交流深め心と体の健康づくり

「いきいき健康サークル」(スポーツクラブみなみかた主催、高橋充会長)は2月15日、南方中央運動広場で開かれ、同会員ら30人が参加しました。
健康サークルは、心と体の健康づくりを目的にグラウンドゴルフを実施。参加者は仲間との交流を深めながら腕を競い合いプレーを楽しみました。熟練された技術から好プレーが出ると「ナイスショット」などお互いをたたえました。



南方



東和

ボーリングで運動不足を解消

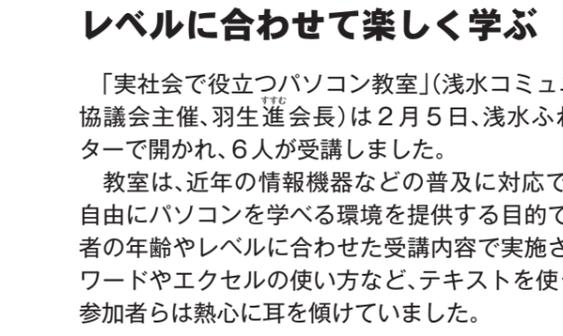
「成人教育事業ボーリング教室」(米谷公民館主催、齋藤茂春館長)は1月20、27日と2月3日、石巻市プレナミヤギで開かれ、地域住民7人が参加しました。
教室は、講師からボーリングと健康維持の関係性についての講話を聴講。座学の後に試合形式でボーリングをプレーしました。参加者からは「日頃の運動不足が解消できた。ぜひ来年度も参加したい」という声が多く上がり、ボーリングを楽しみながら運動と健康について学びました。



津山

中学生が施設に車椅子を寄付

津山中学校(千坂佳織校長、生徒84人)の「車椅子贈呈式」は2月28日、同校で開かれ、厚生委員の熊谷多実さん(3年)と西條楓菜さん(2年)が特別養護老人ホーム柳風園の阿部一郎園長に車椅子を贈呈しました。
同校では、毎月28日を地域貢献のために募金をする「つやまの日」と定め、小遣いやプルタブを集めるなど取り組める善意を3年間積み重ねてきました。阿部園長は「善意をありがとうございます。大切に使います」と話しました。



中田

レベルに合わせて楽しく学ぶ

「実社会で役立つパソコン教室」(浅水コミュニティ運営協議会主催、羽生進会長)は2月5日、浅水ふれあいセンターで開かれ、6人が受講しました。
教室は、近年の情報機器などの普及に対応できるように、自由にパソコンを学べる環境を提供する目的で開催。参加者の年齢やレベルに合わせた受講内容で実施されました。ワードやエクセルの使い方など、テキストを使った指導に参加者らは熱心に耳を傾けていました。